

福祉防災カフェ

2026年1月31日(土)

18時30分～20時 (Zoomにて実施)

テーマ 奈良の災害

「奈良は、昔、都があったところだから、安全！」

根拠のない安全神話を信じていませんか？

講師 朝倉台自主防災会副会長 坂口 幹彦 氏

奈良盆地は、縄文時代、湖、沼地、湿地であった
巨大地震が起こると、液状化現象が起こる

奈良には、35kmに渡る奈良盆地東縁断層帯はじめ、数多くの活断層がある

南海トラフ地震が起こると、近隣府県も甚大な被害を受け、
ライフラインが止まる

奈良盆地の156本の川が、亀の瀬1か所に集まる
地すべりで塞がれると、奈良盆地は広範囲で浸水する

参加申込 toshiyuki351012@outlook.jp 植田 寿之 あて

※お名前、ご所属、取得されている専門資格をお知らせください
後日、URL、ID、パスコードをE-mailでご案内いたします

なお、2026年3月20日(金・祝)、地すべり対策工事が施されてきた亀の瀬(地すべり歴史資料館、排水トンネル)を見学する予定。別途ご案内いたします。

一般社団法人 奈良県社会福祉士会 地域防災推進委員会